

令和元年6月12日

発表先：島根県政記者会・出雲市政記者クラブ

渇水対策支部を設置し、 斐伊川の渇水調整を開始します

～ 節水にご協力をお願いします ～

斐伊川流域では、5月以降まとまった降雨が無く、斐伊川の水量が減少し渇水傾向にあり、尾原ダムの貯水率^(※1)が低下しています。

本日（6月12日）8時現在の尾原ダムの貯水率は76.7%となっており、このまま降雨が無ければ更に貯水率が低下します。

斐伊川渇水調整協議会^(※2)では、尾原ダムの貯水率が75%を下回った段階で渇水調整に入ることとしており、明日（6月13日）には75%を下回る見込みです。

出雲河川事務所では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とした渇水対策支部を同日10時に設置するとともに、第一次渇水調整^(※3)を開始します。

斐伊川流域の皆様には、節水へのご協力をお願いいたします。

[斐伊川における渇水調整協議会等の開催経緯]

- ・4月22日(月)斐伊川渇水調整協議会幹事会(第1回)を開催(2019年度の斐伊川水利用運用について検討)
- ・4月26日(金)斐伊川渇水調整協議会(第1回:持ち回り)を開催(2019年度の斐伊川水利用運用について承認)
- ・6月6日(木)斐伊川渇水調整協議会(第2回)を開催

※ 決定内容:尾原ダムの貯水率に応じた渇水調整案について(尾原ダム洪水期における利水容量を基準として、貯水率75%以下となった段階で渇水調整を開始)

※1 貯水率は、尾原ダム洪水期における利水容量1,720万m³を基準として、ダムの貯留量を百分率で表したものです。

※2 斐伊川渇水調整協議会は、斐伊川の渇水時に関係利水者間の水利使用に関する情報連絡や調整を行うことで合理的な水利使用の推進を図ることを目的とした協議会で、斐伊川の水を利用している農業用水、水道水、水力発電の関係者及び河川管理者(国、県)で構成されています。

※3 第一次渇水調整とは、尾原ダム貯水率が75%～65%の場合に、雲南市木次地点・出雲市上島地点のダム操作規則上の流水の正常な機能の維持のため必要な流量を30%減じる措置のことをいいます。なお、第二次渇水調整は、同ダムの貯水率が65%～50%の場合に、同流量を40%減じる措置のことをいいます。

▼ 国土交通省のウェブサイトにて、河川水位やダム貯水率などの情報を提供しています▼

川の防災情報:<http://www.river.go.jp/87.html>

国土交通省のウェブサイトをご覧ください

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 TEL(0853)21-1850【代表】

【担当】(技)副所長

占用調整課長

おきた ひろゆき
沖田 宏之

ほそだ ひろし
細田 博